

小城市立 小中一貫校 芦刈観瀾校 学校だより

# ともに



令和元年6月18日発行《文責》校長：森永浩幸 副校長：松尾寛

## 6月の全校朝会で児童生徒に伝えたいこと！

今月の全校朝会が、17日（月）の朝の時間に行いました。校長先生と生徒指導主任の森崎先生の話、それに表彰を紹介します。

校長先生の話は、ケンタッキーフライドチキンの創業者、カーネルサンダースさんの生い立ちから生涯にわたる、苦勞と知恵、願いが「生きる力」となり、成功を収めた内容でした。サンダースさんは、幼いときに父を亡くし6才で家族のために料理を作ったり、成人し経営していたレストランが火事で焼けたり、近くを高速道路が通り客足が遠のいたり、苦勞が絶えませんでした。しかし、60歳を過ぎてから、それまで扱ってきた圧力鍋とフライドチキンのレシピをもとに、世界80カ国で1万軒のケンタッキーの店を出したそうです。そして、亡くなるまで世界中に出店したチェーン店の味を確かめて回ったそうです。この話を通して、「生きる力」の源となる毎日の積み重ねが、子どもたちの人生をたくましく豊かにしていくことを伝えられました。

森崎先生の話は、以下の2点が大切でした。1つめは、梅雨の時期に入り、傘や合羽によって視界が限られることから、事故を避けるためにも歩行や自転車による通学の交通ルールを守ることが大切である。2つめは、誰に見られても清潔で整った身だしなみを心がけることが大切ということでした。

お二人の話に共通することは、日々の学校や家庭での生活を大切にし、今、やるべきことに自ら取り組むことの重要さでした。清々しい、気持ちよい風とともに、子どもたちの心に届く話でした。表彰は、各種スポーツ大会で活躍した中学生の紹介でした。



【校長先生の話】



【柔道大会の表彰】



【森崎先生の話】

## 平和集会、開かれる

18日（火）の朝の時間に、6月23日（沖縄慰霊の日）を前に、各教室で平和集会を行いました。絵本『つるちゃん』の読みかせや感想交流を行いました。子どもたちは、平和の大切さを感じていました。

## 小城市PTAミニバレー大会、おつかれさまでした！



## 水泳指導に励んでいます！

16日(日)に芦刈文化体育館で、市内の小中学校のPTA(11団体)から男女別のチーム(9人制)が出場して行われました。芦刈観瀾校からも選手だけでなく、応援の方々も含めて多くの方に集って頂きました。これまで、夜に3回の練習を行い、当日の試合に臨みました。

結果は男女とも善戦し入賞は逃しましたが、すばらしいチームワークを披露し、それぞれの練習の成果を発揮することができました。これまで練習などのお世話をして頂いた、PTAの母親部や本部のみなさんのおかげで、参加された方にケガもなく、応援の方々も含めて笑顔の1日を過ごすことができました。ありがとうございました。



子どもたちが大好きなプールでの水泳が行われています。夏場の水難事故に対応するために、一人ひとりの泳ぎが上達するように担任は指導を続けています。今日も青空の下、子どもたちの歓びの音が響き、工夫した指導が行われています。3年生では大プールの深さを感じさせないために、写真のようにプール底にスチレンボードを敷いて、その上を歩きながら水慣れをすることから始めていました。



相手のサーブを見事にレシーブ！



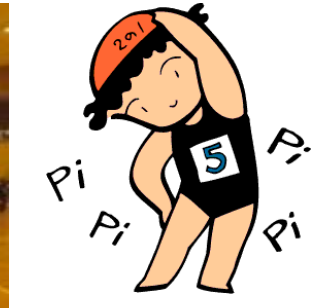
ナイスレシーブからの攻撃！



すばらしいアタック！



一進一退の白熱したプレー



声を掛け合っのナイス、レシーブ！



アタッカーへのナイス、トス！



コートすれすれのボールをレシーブ



得点が決まり、みんなで輪になって喜ぶ



素晴らしい応援にも感謝！